

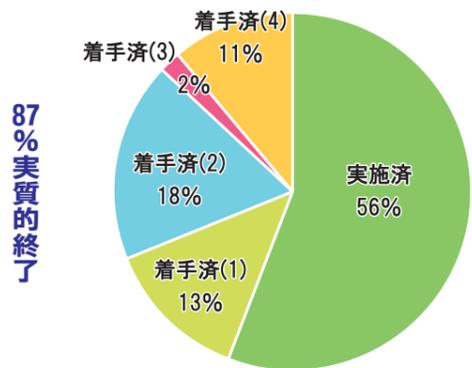


工事が完了した泊里漁港防潮堤

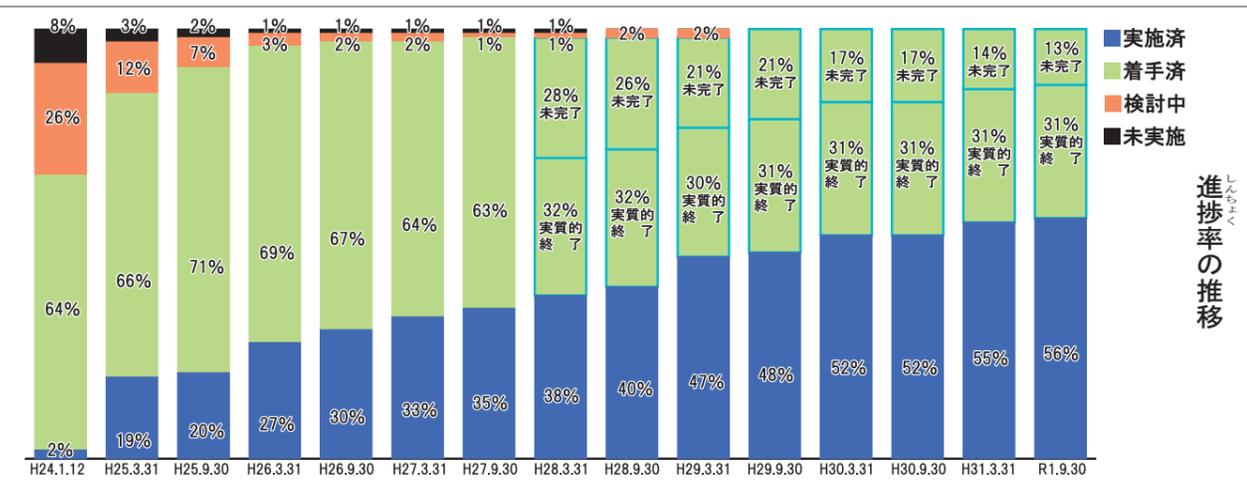
復興事業の状況

▽問い合わせ先〓復興政策課(☎内線3399)

市では平成23年10月31日、東日本大震災を乗り越え、被災者が生活を再建できるように、また、市民が幸せを感じ、誇りを持てるまちとして再生するために、大船渡市復興計画を策定しました。令和元年9月30日現在で復興計画に搭載している事業は、4つの柱①市民生活の復興②産業・経済の復興③都市基盤の復興④防災まちづくりの合計で256件となっています。進捗状況は、実施済みが143件、着手済みが113件、検討中(実施に向け検討中)および未着手(実施の見通しが立たない)はいずれも0件です。着手済みのうち、79件は実質的に終了と認められますので、計222件(約87%)が当初の目標を達成していることとなります。



- 着手済の分類
- 震災前からの事業で、再開したもの⇒【実質的終了】
 - 震災後からの事業で、軌道に乗ったもの⇒【実質的終了】
 - 震災前からの事業で、再開したが未完成(未完了)のもの
 - 震災後からの事業で、未完成(未完了)のもの



「復興の完遂」と 「持続可能なまちづくりの実現」 に向けて



大船渡市長 戸田 公明

東日本大震災から9年の歳月が経過いたしました。ここに、あらためてお亡くなりになりました方々に対し、深く哀悼の意を表しますとともに、被災されました多くの皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

本市におきましては、これまで国内外からの多大なるご支援と市民の皆さまのご理解、ご協力のもと、市復興計画の推進に全力で取り組んでまいりました。その結果、事業費ベースでの進捗率が約9割を超えるなど、着実に復興の歩みを進めてきたところであります。

中心市街地であります大船渡駅周辺地区におきましては、土地区画整理事業の基盤整備工事が完了し、民間による事業用施設や店舗などの建設が着々と進んでおりますし、商業エリアにおきましては、キャッセン商業街区を中心に四季折々、多種多様なイベントが開催され、まさににぎわいの中心として世代を超えた幅広い交流が図られております。

また、その周辺におきましては、市民をはじめ本市を訪れる多くの皆さまの憩いの場として整備を進めてきた夢海(ゆめみ)公園が完成し、平日休日問わず元気に遊ぶ子どもたちの歓声が響く中で、日課の散策に訪れる方の姿も見られるなど、老若男女問わず多くの皆さまにご利用いただいております。

市内各所に目を向けますと、被災跡地を活用

し整備した末崎町小河原地区の産業用地において、大規模トマト栽培施設が本格稼働を開始しておりますし、三陸町越喜来浦浜地区では、新たに夏イチゴの生産施設の建設が進められております。

さらには、東日本大震災の記憶伝承だけでなく、地震や津波、豪雨といった自然災害に関する情報を展示・発信していく総合的な学びの場となります(仮称「防災学習センター」)の整備についても検討を進めております。

復興計画期間も令和2年度が最終年度となりますことから、復興の完遂に向け重要課題である中心部のまちづくりや、被災跡地のさらなる利活用の促進、加えて心のケアやコミュニティ形成支援といった、被災者に寄り添う施策、さらには、復興の検証や将来に引き継ぐべき課題の抽出など、復興の総仕上げに向けた取り組みにつきましても全力を傾注してまいります。

市といたしましては、復興の先も見据えながら、多様な地域課題に対応した持続可能なまちづくりを推進すべく、これまで以上に市民の皆さまをはじめ各方面との協働・連携を強め、各種取り組みを積極果敢に推進してまいりたいと考えておりますので、今後におきましても、なお一層のご指導、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。